

西大和つうしん

2014年 1月号

No. 379



高見山から桃俣へ向けて
12月15日 例会山行

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第379号(2014年1月号)

【目次】

1 月度山行計画.....	1
1 月度・2 月度カレンダー.....	2
山行・行事等参加メモ.....	3
山行報告	
例会山行1 《11月24日》 鈴鹿の山 御在所岳(勝尾).....	5
例会山行1 《12月1日》 鈴鹿の山 藤原岳(杉川).....	7
例会山行1 《12月8日》 鈴鹿の山 那須ヶ原山～油日岳(内田)....	8
HLS 教育山行 《12月8日》 台高の山 高見山北尾根(玉越).....	9
例会山行2 《12月15日》 台高の山 桃俣から高見山(多賀).....	10
室内例会だより(11/27).....	11

1 月度山行計画

～雪の金剛3コース～ ●奈良県連交流山行(担当:オオヤマレンゲ山の会)

◆1月19日(日):例会山行2◆《金剛山(郵便道/紅葉谷/丸滝谷)》

〔L:藤本 / 緊連:林〕

【本会集合】上牧町役場前駐車場 7:00

【全体集合】奈良県社会教育センター駐車場 8:00

奈良県葛城市寺口 1096 (0745-69-6911): 県道 30 号線(山麓線) 中戸交差点から南へ約 500m で左折すぐ「かつらぎの森」内

※公共交通機関利用の方は、近鉄新庄駅集合 7:30。社会教育センターまで送迎を行います。

※集合後、車に分乗して各コースの登山口に向かいます

【コース】[本会は②の紅葉谷コースに参加します。](#)

①郵便道コース(登り2時間20分)初級

高天彦神社～一ノ鳥居～山頂広場

(下りも同コース)

②紅葉谷コース(登り2時間30分)中級

水越峠～カヤンボ～紅葉谷～葛木神社裏～山頂広場

(下りは:六道ノ辻～ガンドガコバルート～水越峠)

③丸滝谷コース(登り2時間40分)上級

石筆橋～丸滝谷～六道ノ辻～大日岳～山頂広場

(下りは:六道ノ辻～太尾道～石筆橋)

※各コースともに、登山口を 9:00 までに出発、山頂広場集合時刻は 11:30

※頂上広場では、熱くて美味しい豚汁を用意しています

～冬の大峰北部が一望出来る観音峰へ～

◆1月26日(日)：例会山行1 ◆大峰の山《観音峰》

〔L：林 / 緊連：都築〕

【集 合】近鉄吉野線下市口駅前 8:40 霧氷号バス 8:50 発乗車

【コース】観音峰登山口～(30min.)～途中展望台～(30)～休憩所～(40)～観音峰展望台～(40)～山頂 1,347m～(30)～観音峰展望台～(30)～休憩所～(45)～登山口手前分枝～(50)～洞川温泉バス停 15:40 発バス乗車予定(下山時刻によっては観音峰登山口でバス乗車)【歩行距離 10km/ 歩行時間 5時間】

【帰着予定】新王寺駅 18時頃

1/4 予定の山行は、次のとおり変更して行います。

◆1月4日(土)：自主山行 ◆紀泉アルプス《雲山峰》

〔L：島崎 / 緊連：都築〕

【集 合】JR 王寺駅 7:35 (7:46 発→天王寺発 8:13→山中溪着 9:06)

【コース】山中溪～(0:50)～第一パノラマ台～(1:50)～雲山峰～(0:30)～展望広場・昼食～(0:40)～井関峠～(0:30)～墓ノ谷出合～(1:00)～六十谷駅 (15:36 発に乗車予定) 【歩行時間：約5時間20分】

【帰着予定】JR 王寺駅 17時頃

西大和山の会 カレンダー

1 月		2 月	
1	水	初日の出山行 珥 明神山(都築)	1 土
2	木	↳鳥居前 6:30 集合	2 日
3	金		3 月
4	土	自主山行 紀線アルファ 雲山峰(島崎)	4 火
5	日		5 水
6	月		6 木
7	火	県連理事会	7 金
8	水		8 土
9	木	ハイキングリーダー-学校座学(第9回)	9 日
10	金		10 月
11	土		11 火
12	日	自主山行 信貴生駒 生駒山縦走(藤井)	12 水
13	月	↳近鉄生駒線王寺駅 8:00 集合	13 木
14	火		14 金
15	水		15 土
16	木		16 日
17	金		17 月
18	土		18 火
19	日	例会山行(県連交流山行) 金剛山(藤本)	19 水
20	月		20 木
21	火		21 金
22	水	会報原稿締切	22 土
23	木		23 日
24	金		24 月
25	土		25 火
26	日	例会山行 大峰 観音峰(林)	26 水
27	月		27 木
28	火		28 金
29	水	室内例会	
30	木	ハイキングリーダー-学校座学(第10回)	
31	金		

山行・行事等参加メモ

		例会	例会	例会	♀自主	自主				
50	音順	12/22 室内 例会	1/19 金剛 山	1/26 観音 峰	1/4 雲山 峰	1/12 生駒 縦走				
1	(石田)									
2	今井									
3	内田	○	○	○	×	×				
4	勝尾	○	○	○	×	○				
5	亀井	○	○	○	○	×				
6	亀高		○車	○	×					
7	(窪田)					○				
8	阪口	○	○	×	○	△				
9	島崎	○	○	○	○L	○				
10	杉川	○	○車	○	×	×				
11	杉村	○	○	○	×	×				
12	多賀									
13	(高田)	休 会 中								
14	高橋	○	×	○	×	×				
15	田中悦	○	○車	○	○	×				
16	田中初	○	○	×	○	×				
17	玉越									
18	辻		○							
19	都築	○	△	×	緊	×	△			
20	橋本	○	○	×	×	○				
21	林	○	×	緊	○L	○	×			
22	藤井	○	○SL	○	×	○L				
23	藤本	○	○L	○	×	×				
24	松浪				○					
25	的場	○	×	○	△	△				
26	村田	○	×	×	△	△				
	合計	17	14+α	13	7+α	5+α				

例会山行 1

鈴鹿の山 《御在所岳》

【日 程】 11月24日(日) 晴れ

【参加者】 L 勝尾・島崎・田中(悦)・田中(初)・藤井・多賀・林・玉越・杉川・亀高・村田 (11名)

【コースタイム】 中道登山口(8:45)～負ばれ岩(9:25)～富士見台(11:00)～裏道分岐(11:05)～御在所岳(11:30/12:00)～表道分岐(12:15)～駐車場(13:55)

行楽シーズンの連休とあって、登山口近くの道路沿いはすでに駐車している車で一杯だった。それでも何とか3台分の駐車スペースを見つける事が出来ホッとする。車から降りると風が冷たい。出発準備をしてすぐ近くの中道登山口から登り始めるが、いきなりの急登である。登山道は大きな岩や木の根が張り出していて、一步の段差が大きく登るのに骨が折れる。30分程登るとロープウェイとの交差点で、そこは少し開けていて、大勢の登山客が銘銘腰を下ろしながら談笑したり、すぐ上を通るゴンドラに手を振ったりしていた。時間に余裕があるのでゆっくり休憩を取りながら登る。負ばれ岩の狭い隙間を通り抜け、稜線に出ると風が強く寒い。今日はお天気は良いが少し霞が掛かっているの、釈迦岳等の鈴鹿の山々は見えるが伊勢湾まではハッキリと見えなかった。負ばれ岩に地蔵岩と不思議な自然界の造形物を楽しみながら稜線に行く。そして今日一番の難所のキレットだ。かなり急な下りだが鎖もありそれほど恐怖感はなく、皆慎重に下り無事通過した。私達の後には小さな子供連れ(1~2年生?2人)の家族が果敢にもキレットに挑戦していた。未来のアルピニストに育つか?そして



て第2の難所も難なく通過する。

見晴らしの良い岩場から下を覗くと、ゴロゴロ大きな岩だらけの沢の中程に再建された藤内小屋の赤い屋根が見える。2010年の集中豪雨ですべて流されたが、山仲間が集まり、流された木材等を拾い集めて再建に協力された様に聞いた。裏道は

美しい沢だった昔の面影が無くなり、ゴロゴロとした岩ばかりのただっ広い沢に変わってしまった。そこから木が生えて再生されるのは何年掛かるのだろう。



急な坂を登り切った所に富士見台があり、山頂まで後は遊歩道に行く。山頂は観光客も多く沢山の人で賑わっていた。山頂で昼食後、琵琶湖が望める望湖台へ行ったが、残念ながらやはり霞んで見えなかった。

下りは表道登山道で鎌ヶ岳を正面に見て下る。ドンドン下るとドンドン鎌ヶ岳が高くなっていく。鎖場もあり

滑りそうな所に気を付けながら下る事1時間。真下にスカイラインが見えて来た。もうすぐだ。スカイラインの下を潜り沢を越えた辺りからは、紅葉黄葉に彩られた美しい沢沿いの緩やかな道になり、晩秋の気分を満喫しながら元の駐車場に到着した。

(勝尾 栄美子)



富士見台にて

例会山行1

鈴鹿の山 《藤原岳》

【日程】12月1日(日) 晴れ

【参加者】L 杉川・SL 玉越・多賀・島崎・勝尾・内田・今井・亀高(8名)

【コースタイム】登山口(9:00)～4合目(9:40)～8合目(10:30)～藤原山荘(11:20/12:00)～山頂(12:20)～藤原山荘(12:50)～8合目(13:30)～4合目(14:10)～登山口(14:40)

鈴鹿の藤原岳。花の山です。もしくは雪の山のイメージかな? あえてこの12月に行くのはどうなんだろうか? とおもいつつ計画してみました。前からネットでみて、登山口にはトイレもあるし、靴の洗い場まである。なんていい山なんだろうと思っていました。まあ、登ってみて思いました。この山には季節に関係なく靴の洗い場は必要なんだと(笑)

登山口から最初は急な登りでした。ひたすら登る。8合目まで樹林帯の中なので



景色はあまり望めない。急遽サブリーダーをお願いしたTさんが絶妙なペースで登ってくれ、あっという間に8合目。9合目からはもう道がドロドロ、ここからが本番でした。靴は重くなる、滑る、歩きにくい、そこから山荘までもものすごく遠く感じました。

山荘はなかなか混んでました。この季節で結構人が来ているので花の季節はすごいだろうなと思いました。

山荘にて昼食、そして山頂へ。景色もよく、いい山だと思いました。足元を除いて・・・

それから8合目までひたすら滑らないように下山。なんとか誰も尻持ちをつかず下山できました。登山口で靴を洗い帰路へつきました。

泥だらけになりましたが、ある意味、泥のおかげで楽しい山行になりました。今度は違う季節にも来てみたいと思ういい山でした。

(杉川 明裕)

例会山行 1

鈴鹿の山 《那須ヶ原山～油日岳》

【日 程】 12月8日(日) 曇り後晴れ

【参加者】 L 田中(悦)・SL 多賀・田中(初)・村田・林・辻・杉村・内田・高橋・阪口・橋本・今井・亀高(13名)

【コースタイム】 参詣橋登山口(8:43)～那須ヶ原山(9:41/50)～三国岳(11:25)～油日岳〔昼食〕(12:13/50)～三馬谷小屋(13:33)～奥余野公園登山口(13:50)～余野公園(14:30)

名阪国道を、走っているとき雨がぱらつき、不安な出発になりました。奥余野公園に車を1台デポして那須ヶ原登山口に向かいました、ガスがかかり那須ヶ原頂上までは展望がありませんでした。

しかし山の稜線を歩くころには次第に晴れ鈴鹿の山々がよく見え出しました。また山道は、アップダウンの繰り返し、道案内にはハイキングコースとの表記、これが登山道でなくてハイキングコースとは・・・ロープ、岩場、痩せ尾根、9年前、友達がはじめて登った山がここで、それは大変だったと聞いていました。

ある程度の熟練登山者には面白い山ですが、初めての山ならやっぱりきついでしょうか？その時からずっと頭の隅にあった山、昨年、高畑山から那須ヶ原に登った時、もしかしたら現実になるかもと期待を持ちました。リーダーの T さんにこの続きを来年してくださいといいました。そしてついに、この山行が実現する日がきました。感きわまるものがありました。当初の予定では、三国、油日を往復するはずでしたが、やはり皆さんもう一度あこを通るのは嫌だと、油日岳から下山しました。



下山後はおいしいおぜんざいのふるまいもありました。

帰りの車の中で、9年前ここにきた友達に、今日ついにこの山に来たよとメールしました。(今は家庭の諸事情で、山はやめた人です)

人間の欲望にはキリがありません。どこまでいっても満足するということのない人もいます。今日一日、山に来たことを有り難いと思わないと言われた人の言葉をかみしめました。

(内田 美由紀)

ハイキングリーダー-学校教育山行

台高の山 《高見山北尾根》

【日程】12月8日(日) 晴れ

【参加者】L玉越・杉川 / 他の会より5名(計7名)

【コースタイム】登山口(8:50/10:00)～踏み替え地点・昼食(12:25/50)～北尾根(13:35)
～“道迷い”～踏み替え地点(15:30)～登山口(17:30)

ルートファインディングの訓練で、登山道として整備されていない場所を地図とコンパスを頼りに目的地を目指す。まず登山口では、現在地を確認する。地図上に表された地形、川の流れる方向などを実際目で見て確認して精度を上げる。それから今回進むルートの確認をし、さらに地図上で候補として挙げた登山口を実際に見に行って今回入山する登山口を特定する。

進む方角が変わる地点、隣の尾根の方角・合流地点、遠くに見える山の方角やおおよその距離など総合的に判断して進む。等高線には現れない小さいピークがあり、地図上のピークと何度も間違えた。北尾根に上がりきった時点で13時半を過ぎていたこともあり、最終目的地の915.4mのピークまでは行かず下山することにした。

下山時のために、分岐点などの重要ポイントに印を付けて登ったのだが、印の付ける必要があると思わなかった地点で別の尾根に進みルートから外れてしまう。その上、登り返す時に尾根上ではなく緩やかな巻き道を選んでしまったことでさらに現在位置を見失う結果になってしまった。完全に“道迷い”を引き起こしてしまった。

15時10分、日没も迫るのでその後は先生の指示のもと下山を開始する。注意すべき点は、①常にコンパスを見て尾根の方角などを確認すること ②実際に見に行き確認すること ③待つ人間はエネルギー補給、風をよける場所で待機 ④疲れなくても巻かずに必ず尾根上を通ること ⑤分岐点では印を2か所(分岐手前と進む方向)に付けること ⑥木の枝や石を使って別の目印も作ること ⑦メンバー内でのコミュニケーションをとっておくこと(どんな機器を持っているか、笛の合図の仕方)などが挙げられる。

日没になり、一部ヘッドランプを付けて下山することになったが、全員怪我もなく無事に下山できて本当に良かった。今回のようなことは二度と体験したくない。しかし今回の経験が道迷い防止と、迷ってしまった後のより良い対処に役立てられるよう、しっかり復習しておきたい。登山地図で整備された登山道に行く場合も、方角・分岐などをちゃんと意識して山行を楽しみたい。

(玉越 啓子)

例会山行2

台高の山 《桃俣から高見山》

【日 程】12月15日(日)曇り

【参加者】L 多賀・SL 田中(悦)・島崎・田中(初)・林・辻・藤井・的場・内田・松浪・橋本・今井・亀高・亀井(14名)

【コースタイム】桃俣登山口(8:40)～天狗山(10:05)～三峰山分岐(10:55)～高見山(12:00/35)～三峰山分岐サイメ谷山(13:20)～天狗山[巻道](13:40)～桃俣登山口(14:40)

13年度例会山行の登り納めの山に近場で雪山を楽しめる高見山を選んだ。冬型の気圧配置が続いたせいか、キーンと空気が冷え山は白い帽子を被っている。登山者の多いコースを避け、高角神社のある桃俣から新人さんを含む14名で出発です。

溝状に掘れた登山路をジグザグに登る。支尾根に着くまでが急で大変だ。尾根を行くと鹿避けのネットが現れる以前来た時に比べこの辺りの笹が非常に少なくなっているのに驚く。たしか笹を漕いだ気がする。やがて自然林になり、東側が開け気持ちが良い、山々の遠望を楽しみながら進むが、風は容赦なく吹き付ける。尾根を進むと天狗山だ。ここで写真とアイゼンを装着。今冬初のアイゼンで装着に手間取る。ここは巻き道もあるが凍結で滑りやすい気がしたので、頑張って天狗山を通



ることにした(帰路は巻道を通る)。そこには高見山・桃俣の標識がたっていた。やがて高見・三峰の縦走路サイメ谷山だ、とても良い眺めだ。この辺りからは樹氷のオンパレードそして強風に冬山を実感する。途中崩壊地を通り岩のアップダウンをこなし、突き上げると高見山の頂上に出た。

高見はシーズン中程の人ではないが、小屋は満員であった。コーヒーを沸かそうと思いきやコンロをを出して驚く「じゅじゅじゅ」

ヘッドが壊れている。皆さんにお湯がいきわたったか、心配だ。食事を済ませ展望を堪能したいところだが寒いので神社の前で記念写真を撮り急斜面を降り往路を引き返した。

樹氷・えびの尻尾と冬山の風を体感でき満足の山行でした。トレースをつくりラッセル?をしていただいたサブリーダーに感謝です。

(多賀 周二)

室内例会だより

【日 時】2013年11月27日(水) 19:30~21:00 事務所

【出席者】島崎、林、杉村、内田、藤本、村田、田中(悦)、田中(初)、多賀、辻、高橋、杉川、阪口、橋本、亀高、亀井、都築

1. 山行案内

- 12月 1日(日) 例会山行1 鈴鹿の山(藤原岳) L杉川
- 12月 8日(日) 例会山行1 鈴鹿の山(那須ヶ原山~油日岳) L田中(悦)
- 12月15日(日) 例会山行2 台高の山(桃俣~高見山) L多賀

2. 山行報告

- 10月27日(日) 登山バス 奥高野の山(伯母子岳) L辻 22名(一般4名)
- 11月 3日(日・祝) 女性部山行 台高の山(西大台) L藤本 8名
- 11月10日(日) ハイキングリーダー学校教育山行
六甲の山(地獄谷~ピラーロック) 5名(西大和参加者 杉川、他の会4名)
- 11月17日(日) 公開山行 奈良中部の山(龍王山~初瀬山) L杉村 23名
(一般7名)

3. 連絡その他

・県連より報告

県連事務所移転 (移転先住所) 大和郡山市新中町17番地

県連自然保護部「春日山原生林観察会」 12月8日

県連交流山行 2014年1月19日 金剛山集中登山

来期のハイカーのための搬出講習会 2014年5月11日

- ・12月7日(土) 運営委員会 14:00~
- ・12月22日(日) 忘年会(室内例会15:00~)
- ・三島さん 体調不良により退会
- ・高田さん 事情により3月まで休会

(都築 周作)

第379号（2014年1月号）

西大和つうしん

2013年12月22日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 藤本武司

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

<http://www.nishiyamatoyama.org/>